

『PCA 会計シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.17プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

SZR_2602

◇「汎用データの受入」機能の改善

- 補助科目名において長さのチェックは行わず、マスター自動登録時にマスター名の長さを超える部分をカットして登録できるようになりました。
- 0円の明細行が含まれていてもエラーにはせずに、該当の行を除外して受け入れられるようになりました。
- 税区分・消費税額を必須項目にしないように緩和されました。
- 補助科目名のマスター自動登録時に名称の半角変換・法人格省略削除機能が追加されました。
- 部門マスターの自動登録機能が追加されました。

◇「取引明細の受入」の仕様変更

「取引明細の受入」において、履歴から仕訳の初期値を設定する際の【取引内容】【備考】【取引先支店名】の空文字の扱いが変更されました。

◇「デジタルデータ処理全般」における過去の取引データ削除機能を追加

「クイック取引受入」「取引明細の受入」「経費精算仕訳の受入」で受け入れた過去の取引データ（および履歴等の関連データ）を削除する機能が追加されました。

◇「経費精算仕訳の受入」集約機能の対応

『PCA Hub 経費精算』の「特定の条件で集計して出力」機能に対応しました。

◇電子申告機能の強化

- 申告データ送信履歴管理機能が追加されました。
- メッセージボックスに受付番号検索機能が追加されました。

◇その他の機能強化

- 「銀行振込依頼書」にて、振込データの作成時、「ヲ」が「オ」に変換されず、「ヲ」のまま出力できるように対応しました。
- 「勘定科目の登録」にて、勘定科目のコードを一括で変更できる機能が追加されました。

◇汎用データレイアウトの備考を変更

- 仕訳データ (Ver7) (Ver6) (Ver5)